別添（様式１－１号・２－１号関係）輸出拡大計画

（注）取組番号別に作成して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 戦略的輸出事業者又は戦略的輸出基地の名称 | ○○社 |
| 事業区分 | [ ] １　中国向け精米輸出に係るくん蒸等対応経費支援[ ] ２　海外へのコメ・コメ加工品輸出に係る規制対応経費支援[ ] ３　重金属・残留農薬等の分析費用支援（海外実需者の求めに応じて行うものに限る）[ ] ４　海外へのコメ・コメ加工品輸出に必要な認証取得等経費支援 |
| 取組番号〇 |  |

（注）「事業区分」欄については、いずれかに✓を付して下さい。

１.対象品目及び実施国・地域

|  |  |
| --- | --- |
| (1)対象品目 | （注）コメ、米菓、日本酒、包装米飯等、米粉及び米粉製品から選択。なお、事業区分の１についてはコメのみ、３についてはコメ及び米粉のみが対象。 |
| (2)実施国・地域 |  |
| (3)輸出の現状 | （注）単なる数値ではなく、当該輸出先国・地域における実需の現状や販売先等を含めて記載すること。 |
| (4)現地のニーズ | （注）輸出拡大に向けて、現地にどのようなニーズがあると把握しているかを記載すること。 |
| (5)現地の検疫条件、規制内容 | （注）現地の検疫条件や規制内容及びそれらへの対応について記載すること。 |
| (6)輸出促進方策 | （注）現地のニーズや商流等の状況を踏まえ、どのように市場開拓を行うのかを記載すること。 |

２．産地との連携状況（戦略的輸出事業者のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| (1)連携して輸出する産地の名称 |  |
| (2)戦略的輸出基地の該当 | [ ] 該当する。[ ] 該当しない。 |
| (3)輸出事業計画認定、産地リスト掲載の該当 | [ ] 輸出事業計画の認定を受けており、1000トン以上の輸出目標を掲げている。[ ] 輸出事業計画の認定を受けている。[ ] 輸出産地リストに掲載されている。[ ] いずれも該当しない。 |

３．オールジャパン事業の参加状況

|  |  |
| --- | --- |
| (1)全米輸会員の該当 | [ ] 正会員☐賛助会員[ ] 会員ではない |
| (2)直近３ヶ年のオールジャパン事業の参加実績 | ①実施年度： | 事業名： |
| ②実施年度： | 事業名： |
| ③実施年度： | 事業名： |

４．その他

|  |  |
| --- | --- |
| 商流の構築状況 | （注）通関業者、輸入業者、現地卸業者、実需者を含めて具体的に記入して下さい。 |

５．輸出拡大目標

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和４年の実績 | 令和５～７年の目標 |
| 数量 | 例：トン/年、kg/年、kl/年、㎏/年（1食あたり○○g） | 令和５年：令和６年：令和７年： |
| 金額 | 例：千円/年 | 令和５年：令和６年：令和７年： |
| 目標の積算根拠 |
| 記載例：取引先Ａ：○○トン、○○千円取引先Ｂ：○○トン、○○千円計　 ：○○トン、○○千円 |
| 早期に輸出拡大効果が見込める場合、その背景 |
| ※　特に早期に輸出拡大が見込まれると考えられる場合、その背景等について記載すること。 |

（注１）数量の単位はコメ、米粉及び米粉製品は「トン」、米菓は「kg」、日本酒は「㎘」、包装米飯は１食当たりの重量を明記の上で「㎏」として下さい。

（注２）金額の単位は「千円」として下さい。

（注３）令和４年の実績及び令和５～７年の目標については、それぞれ、当該国・地域向けの年間の実績値及び目標値を記載して下さい。

（注４）申請時期により実績の集計ができない場合は、見込値を記載するとともに、見込値である理由を明記して下さい。

６．添付資料

(注１) 参考となる資料があれば、必要に応じて添付して下さい。必要に応じて資料の提出を求める場合があります。

（注２）添付資料が既に提出している資料の内容と重複する場合には、その重複する部分については省略できることとし、省略に当たっては、提出済の資料の名称その他資料の特定に必要な情報を記載の上、当該資料と同じ旨を記載することとします。

（注３）添付書類について、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができます。